

ほっとステーション



～ DV被害女性のためのセルフ・ヘルプ（自助）グループです ～

ホッとひと息つける場がある

話を聴いてくれる場がある

わかってくれる人がいる

共感し合える場がある

**あなたも「ほっとステーション」に
来てみてください。**

ひとの話を聴く、自分の話を聴いてもらうことによって何かをつかむ場です

- ★ 定期的開催：1～2か月に1回程度、1回約2時間
- ★ 参加費：1回につき500円
- ★ 日時&会場：本人のみに通知
- ★ 原則として本人のみの参加
- ★ ファシリテーター（進行の促進を図る人）が場の進行を助けます
- ★ 互いに批判、評価、中傷、干渉をしない
- ★ グループで話されたことの秘密を厳守します

【セルフ・ヘルプ（自助）グループの目的】

- ・ 苦しみや悲しみを抱えたままでも、それをコントロールできるよう支え合う場である
- ・ 考えや気持ちを素直に語ることにより、それぞれが希望を持てるようになる場である
- ・ 被害当事者が参加者との相互の力で、本来持つ自分らしさを取り戻す場である

申し込み・問い合わせ：ウィメンズネット「らいず」事務局

TEL:029-222-5757（毎週水曜・金曜日 10時～4時）

TEL:029-221-7242

「らいず」の主な活動

「らいず」は、次のような活動もしています。お手伝いいただけるボランティアスタッフを常時募集しています。関心のある方は、どうぞ事務局までご連絡ください。

□ DVヘルプライン（電話相談）

夫や恋人など親密な関係にある男性から暴力を受けている女性の相談に、研修を受けたスタッフが無料で応じています。匿名でも受け付けます。

毎週水曜・金曜日 10時～4時

029-222-5757

FAX:029-222-5756

■ 女性シェルター「セイフティらいず」

夫や恋人からの暴力被害に遭い、逃げてきた女性と子どもたちの安全を守り、一時的に安心して生活できる居住スペースです。心身の傷を癒しながら、新しい生活を始める自立準備の場としてご利用いただけます。

<利用案内>

- 場 所：茨城県内1カ所 ○間取り：3DK（家族、単身者向き）
- 設 備：テレビ、冷蔵庫、洗濯機、寝具、整理タンス、食器類、電子レンジ、その他日常生活用品
- 入居条件：
基本的に、自分のことは自分でできる人。ただし、ここからの通勤・通学はできません。
- 食 事：原則として自炊。食費自己負担。主食の米、調味料は常備しています。
- 利用料金：1日 2,000円（1組を単位とします）
※所持金がない場合には、相談に応じます。
※茨城県の一時保護委託となった場合には副食費などをお渡します。
- 利用期間：原則として2週間以内

□ その他の活動

- ◇ 役所、病院、裁判所などへの付き添い支援、種々手続きへの助言・サポート。
- ◇ 子どもの学習支援。
- ◇ DV防止や被害者の支援、女性や子どもの人権に関する講演会やセミナー、研修会の開催。
- ◇ 被害女性や子どもたちとの交流会、子どもたちのアートセラピー。
- ◇ 被害女性へのカウンセリング。

など。